



平井西小だより

令和5年1月31日
江戸川区立平井西小学校
校長 藤澤 優子
2月号 No.10

学びを子供たちに定着させるために ～心と心の絆を深めながら～

校長 藤澤 優子

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言って、1月は早々に過ぎていき、2月の声を聞くようになりました。時が経つのは早いと実感します。

1月19日～21日には、5年生がウインタースクールで、新潟県魚沼市に行ってきました。スキーを滑ったり、雪遊びをしたり、ウッドバーニング体験をしたりして予定通りのスケジュールを行うことができました。特に2日目は快晴無風という最高のコンディションの中、1日スキーを楽しみ、東京では味わうことのできない、貴重な雪国の暮らしを満喫することができました。



1月26日（木）にはクラブフェスタが行われました。4年生から6年生が月に1回ほど行っているクラブ活動を1年生から3年生に体験してもらうという異学年交流活動です。このような大きな活動に参加することは、とてもわくわくしますが、当日うまくことが運ぶように段取りを考え、作業を分担し、確認を取り合って進めていく、4年生から6年生の準備は大変です。めざすところは、参加したみんなの笑顔や喜びであることは変わりません。当日は天気にも恵まれ、活動は大成功しました。学校で学んだことや身に付けたことが、やがて地域社会の中で生かされることを願っています。

この他にも全校で取り組む読書週間（西っ子読書郵便）は2月3日まで、書き初め展は2月4日まで開催されています。2月4日は、今年度最後の土曜授業公開、道徳授業地区公開講座となっています。1校時が1組、2校時が2組の道徳科の授業公開、3・4校時は、アトランタパラリンピック出場以降6大会連続パラリンピック出場の車いすテニス齋田 悟司選手をお招きし、4年生が体験等の授業を行います。この授業は、4年生以外の学年の保護者の方も参観できます。ぜひご来校ください。

さて、このように3学期も取組が多くありますが、学んだことを定着させていくことが大切です。そのためには、考えたり感じたりしたことを言葉や体で表現することが必要です。学校では、学習の振り返りの時間を大切にしています。ご家庭でもぜひ「今日どんなことをしたの。」「何が楽しかった。」といった声かけをしてみてください。体験を共有するとともに、「人に伝える。」ということは、学びが定着し、生きて働く力となるためにとっても有効な手段だと考えます。学びを子供たちに定着させるために、ぜひお力をお貸しください。